

読Qの使い方

いろいろな人の読Q活用例は、一番下に紹介しています：小中学生、高校生、学生さんへ、子育て中の方へ、文系大卒の方へ、身体の不自由な方へ、小学校教師さんへ、オタクさんへ、大学教授の方へ、読書サークルさんへ、編集者さんへ、中高一貫校さんへ、企業の採用担当さんへ、学童の指導者さんへ、仕事が忙しい方へ、介護施設長さんへ、就活生さんへ、専門家の方へ、図書館員さんへ、読書家ではないけれど読書推進をしたい方へ、日本語を勉強したい外国の方へ、子育てサークルさんへ

目次

第1章 会員種類の説明および主なページの使い方	1
1. 会員の種類（新規登録、会員名の表示、会費、あしなが援助金ご案内他）	
2. 読Qトップページ(学校、教師トップページも紹介)	
3. 本のページ	
4. マイ書斎（顔認証の仕方）	
第2章 検定面の説明	10
1. 本の検索	
2. 受検	
3. ポイントと級	
4. 合格した場合	
5. 読書認定書の発行方法	
第3章 読書推進活動面の説明	13
1. 本の登録とポイントの設定	
2. 検定クイズを作る	
3. 試験監督をする	
4. 監修者になる	
5. あしなが援助賛同会員になる	
第4章 いろいろな人の読Q活用例	18

第1章 会員種類の説明および主なページの使い方

1. 会員の種類

一般会員

- ◆個人で読Qに登録をされている会員のうち、監修者会員と著者会員を除いた会員を言います。読Q利用登録のある学校(会員校)に所属して読Q活動を行う児童生徒も、一般会員に含まれます。
- ◆読Q受検や検定問題作成が出来ます。20歳以上の方なら、web 受検する会員を見守る試験監督をしていただくこともできます。
- ◆マイ書斎内の受検結果や読書量順位、読書履歴、読書推進活動記録等の公開非公開を設定できます。読Q受検に合格した本については、その読Q本の公式画面向けに帯文(本のおすすめコメント)を投稿したり、帯文に「いいね！」を付けたりして楽しむことができます。入試、就活、宿題等の提出物として利用可能な「読書認定書」(現在のポイントや級、読み終わった本の読了証明)を発行することもできます(有料)。
- ◆会費は、月額100円、または年額1000円です。(監修者会員、著者会員も同じです)そして受検料は無料です。

監修者会員

- ◆教師経験者や文系の学士をお持ちの方は監修者会員になっていただけます。一般会員の権限に加えて、監修者会員はお好きな本の監修者に立候補できます。
- ◆その後当協会によって、その本の担当に選任された監修者は、会員が作った沢山のクイズ文から良いものを選定し、正式な読Qの検定問題として認定する役目を担います。監修は何冊でもしていただけます。
- ◆監修作業は、マイ書齋の「**監修した本一覧**」から行います。
- ◆受検者からの問い合わせや通報等により、監修した本のクイズを、一部編集していただくことがあります。
- ◆監修者は、担当する読Q本のページに投稿される帯文を管理し、不適切な投稿を削除する権限を持ちます。
- ◆監修本を持つと、「監修者紹介ページ」にプロフィールが掲載されます。「監修者プロフィール」を充実させましょう。
- ◆監修をしても、その本の著者が監修を希望した場合、自動的に監修者権限が著者へ移ります。ご了承ください。

著者会員

- ◆読Qの出題形態に合う書籍を出版社から出版しているプロの作家で、著書が読Q本登録されている方は、著者会員として会員登録ができます。
- ◆監修者会員の権限に加えて著者会員は、自著の読Q本において既に他の監修者がいる場合であっても、代わって自著の監修者になってクイズや帯文の管理をすることが可能です。問合せから当協会へご連絡ください。
- ◆マイ書齋内で、自著リストの管理や読者数比較等が可能です。著者会員様にはペンネーム表示をお願いしています。

会員校

- ◆読Qの利用規約に同意し、読Q会員登録をした学校をいいます。小学校、中学校、高校、大学が登録申請していただけます。
- ◆会員校アカウントは、読Q活動を行う教師や生徒を所属登録または新規会員登録することができます。
- ◆会員校は、読Qウェブサイト内の表やグラフにて、校内および学校対抗の読書量競争ができます。
- ◆学校の固定Pアドレスを登録すれば、校内では担当教師が試験監督になり、複数人一括で読Q受検が可能です。（司書会員や読書ボランティア等、教師会員以外が行う場合は、一括受検ではなく一般のマンツーマン試験監督になります。）
- ◆会員校の読Qネームでログインすると、主に教師や司書および児童生徒の読Q登録や編集削除、教師や司書の権限の設定と、学校読Qページの管理等を行うことができます。
- ◆会員校の会費…入会金3000円。読Qを利用する教師が30名以上の場合は10000円。および、読Qを利用する教員や司書の人数×100円(月額) + 学校が会費負担登録をした児童生徒数×100円(月額)

教師会員

- ◆会員校によって利用登録された教師や司書を指します。教員免許や司書資格のない職員等は教師会員になれません。
- ◆教師会員は学校の読Qシステムを使えますが、ログインパスワード等は学校が管理するため、受検などの個人的な読Q活動はできません。受検したい場合は、個人的に読Qに入会し、個人の一般会員として読Qネームを取得することが必要です。（教師の方は一般会員ではなく、監修者会員になれます）
- ◆教師会員の会費は、会員校が負担します。

準会員

読書推進の観点から設けている無料会員です。読Qの受検ができない等、利用できる機能に制限があります。準会員は、次の2種類があります。

①教師会員のアカウント(読Qネーム)を持っていたことのある個人

会員校で教師会員をされた方は、会員校から転出すると準会員となります。準会員は、検定問題の作成、本の登録など

は出来るので、読書推進活動を続けていただくことが可能です。会費支払い手続きをすれば、監修者会員や一般会員になることができます。または再び読Qの会員校に所属すると、教師会員に戻ります。1人の教師会員の読Qネームは、学校を異動後も同じ読Qネームを使うことを推奨しますが、学校ごとに新しく発行することも可能です。

②会員校を卒業または転校した、20歳未満の会員(所属校が読Q会費を負担していた場合)

読書推進の観点から、若年層には優遇措置を講じています。会員校が会費負担をしている20歳未満の会員については、所属する会員校から卒業や転校をすると、自動的に準会員となります。20歳未満の準会員は、20歳になる前に、①会員校に所属する ②個人で会費支払いの手続きをする という①②いずれかの方法により、一般会員として同じ読Qネームを再開できます。また、20歳未満の方は、たとえ読Q退会手続きをして退会しても、また新規登録や問合せから再開の手続きをすれば、同じ読Qネームで履歴を継続することが可能です。20歳の誕生日を過ぎると、同じ読Qネームを再開することはできず、新規登録となります。

新規会員登録について

- ◆ 読Qトップ画面右上の「新規登録」をクリックして、該当する会員種類で新規登録してください。入力方法などの詳細は登録画面からマニュアルを参照可能です。
- ◆ 登録後、2週間は会費の支払いが行われませんので、その間は無料でお試しいただけます。万が一取りやめる場合は、2週間以内に退会すれば、支払いは発生しません。
- ◆ **会費支払いの頻度(年額か月額か)は途中変更ができませんのでご注意ください。**
- ◆ 受検や試験監督、基本情報の更新には、顔認証が必要です。マイ書齋→基本情報→顔認証 にて顔を登録しましょう。

会員名の表示について

読書は教養を深める真面目な行為であることから、読Qでは本名での活動を推奨しています。本名以外では、ログイン時に使用する読Qネーム(ファーストネームと数字から成る会員固有のID)を表示することも可能です。

- ◆ 完全な匿名での活動はできませんが、基本情報や読Q活動の一部は公開非公開を選択することができます。
- ◆ 中学生以下の会員については氏名完全非公開で、居住市区郡町村と学校名を公開しています。

会費について

読Qは1人につき月額100円、または年額1000円の会員制です。あしなが援助(低所得世帯のお子さんの会費肩代わり制度)を行うこともできます。支払の手続きは入会時にPayPal サイトで行います。いただいた会費は読Qのシステム維持と運営に充てさせていただきます。会費だけでは賁えないため広告収入も得ております。ご理解のほどお願い申し上げます。

★ あしなが援助金のご案内

- 低所得世帯のお子さんの会費を20歳まで、1人または複数人分肩代わりができる制度です。
- 援助する人を「あしながさん」、援助される人を「ジュディさん」と呼びます。「あしながおじさん」から命名しました。
- あしなが援助金受給希望者(ジュディさん)が少なく、6か月の間でマッチングが難しい場合、あしながさんには、20歳未満の読書量ランキング最上位の会員の会費を、奨学金のような形で援助していただきます。
- あしながさんとジュディさんのマッチングは当協会が行います。援助開始後、互いの公開マイ書齋を閲覧できます。本名や連絡先の交換は行いません。
- マッチングまでに最長6か月の猶予をいただきます。その間の会費は事務手数料とお考えください。ジュディさんも、申請から最長6か月間は、会費のお支払いをお願いいたします。
- あしなが援助を行いたい方(あしながさん志望者)は、新規登録時に会費支払い項目で、援助人数を選んで登録してください。そして念のためログイン後に問合せ欄から、援助人数をお知らせいただくと漏れが防げます。
- あしなが援助金の受給を希望される方(ジュディさん志望者)は、新規登録時に、本人確認書類と共に、市県民税課税証明書を撮影して送信してください。漏れを防ぐため、その後ログインして問合せ欄から、受給希望の旨をお知

らせて願います。

★ PayPal(ペイパル)について

■PayPalは、金融情報を支払先に秘匿して決済ができる、世界規模のオンライン決済・送金サービスです。YouTube、音楽配信やオンラインゲーム、航空券やホテル、その他世界のネットショップの決済に使われているサービスなので安心してご利用いただけます。

■新規登録時に、金額および月額か年額かを選んで「定期購読」を押すとPayPal サイトへ移動します。ペイパルアカウントをお持ちでない方はアカウントを開設し、クレジットカードを登録します。銀行口座の登録で口座振替も可能です。

■読Qの会費は継続型定期支払のため、必ずPayPalの会員登録をしてお手続きいただきますようお願いいたします。

■読Q入会のPayPal 決済日(購入日)は、入会から2週間後です。月額支払の場合は毎月その日にち(年額支払なら毎年その日付)がペイパル決済日となります。そして個々人の口座からの引落日は、クレジットカードなら各社指定日、口座振替ならペイパル決済日の3～7日後となります。**支払頻度の途中変更はできません。**

■読書認定書発行手数料のペイパル決済日については、クレジットカードは即日、銀行口座は3～7日後となります。

退会する場合

◆退会しても、既に納めていただいた会費は返却いたしません。既に納めていただいた会費分の有効期間は無効になり、退会手続き終了とともにログインできなくなりますのでご注意ください。読Qの会費は少額で、また読Qは少人数で運営している非営利団体であり、極力業務を簡素化させていただいております。どうかご理解のほどお願い申し上げます。

◆退会すると、せっかく貯めた読書量のポイントや級、読書履歴等が消失してしまいます。ぜひ読Qを継続し、読書、そしてクイズ作りなどの読書推進ボランティアをライフワークにしましょう。

◆退会しても、退会日から3か月以内なら、同じ読Qネームを再開することが可能です。新規登録画面の読Qネーム入力欄に入力して再登録してください。うまくいかない場合はお問合せください。(手続きに時間がかかることがあります)

◆20歳未満の会員については、若年層の読書推進の観点から、退会しても、新規登録やお問合せから手続きをすれば、同じ読Qネームを再開し、履歴を継続することが可能です。(手続きに時間がかかることがあります)

◆退会手続きは、マイ書齋サイドメニューの基本情報から行います。退会申請が完了すると、ログアウト状態に変わり、退会確認のメールが届きます。

2. 読Qトップページ



①読Qのロゴ: どの画面からでも、読Qのロゴをクリックすると、このトップページになります。

②名前または読Qネーム: マイ書齋に遷移します。自分の表示名を本名にするか読Qネームにするかは、マイ書齋で選ぶことができます。

③ログアウト: クリックすると即座にログアウトします。ログイン表示をクリックすると、ログイン画面になります。

- ④**マイ書齋**：マイ書齋へ遷移します。マイ書齋では自分の級やポイント、読Q活動の記録などを閲覧できます。
- ⑤**本の検索**：読Qに登録されている本を、様々な検索方法で検索することができます。
- ⑥**クイズを作る**：読Q本の検索画面になります。検索して、クイズ募集中の本を探します。
- ⑦**受検**：読Q本の検索画面になります。検索して、受検する本を選びます。
- ⑧**読Qとは**：読Qの説明、監修者紹介、クイズ作成見本、法人概要、利用規約、よくある質問、問合せなど選べます。
- ⑨**新しい読Q本**：最近受検が可能になった本を表示します。
- ⑩**お知らせ**：読Qからのお知らせを表示します。優良試験監督の発表などもこちらに表示します。
- ⑪**クイズ募集中の本**：読Qへの本の登録が完了し、クイズ作成をしていただける本を表示します。
- ⑫**監修者募集中の本**：読Qへの本の登録が完了し、クイズを選定する監修者を募集中の本を表示します。
- ⑬**読Qポイント順位**：ログイン者がこれまでに獲得した読Qポイントの、同年代内順位を表示します。
- ⑭**読書量ランキング 100**：読Qポイントの多い人をランキング表示します。中学生以下は名前非表示です。
- ⑮**試験監督をする**：試験監督履歴の画面になります。（検定時、試験監督は、受検者の端末で本人認証を行います。）
- ⑯**読書認定書パスコード入力**：パスコードの提出を受けた学校や企業が、パスコードを入力して読書認定書を閲覧します。

読Q利用校のトップ画面

トップ画面から、会員校アカウントでログインした際の、団体用トップページです。



- ◆学校の代表者やIT担当者がログインして操作します。
- ◆読Qを利用する教師や司書のアカウントを管理し、自校へ所属や解除をします。
- ◆年度初めに読Qの検定のためのクラス設定をします。
- ◆クラス設定が済むと、教師会員の画面から、クラス単位で読Qの一斉受検ができます。1名の担当教師が試験監督をして、複数の児童生徒がPCやタブレット、スマートフォンで一斉に、各人が読み終えた本を受検できます。
- ◆一斉受検を行うためには、予め読Qに登録してある固定IPアドレスに wi-fi 接続している端末を使用する必要があります。
- ◆自校の読書量ランキングを、地域ごとに他校と比較できます。校内のクラス対抗ランキングも見ることができます。

教師会員のトップ画面の紹介



- ◆ 会員校における教師会員の読Qネームとパスワードでログインした画面です。スマートフォンでも操作可能です。
- ◆ 年度初めに、各教師会員画面にて、クラス担任する児童生徒を登録します。担任している児童生徒の転校、転入、卒業など自校への所属登録や解除も担任教師会員のアカウントからおこないます。
- ◆ 1名の教師会員が見守る中、1クラスの複数の児童生徒が、PC、タブレット、スマートフォンで、それぞれが読み終えた本のストーリークイズを受検できます。読Qの一斉受検や読書量ランキング表示等はクラス単位です。
- ◆ 教師会員は自分の端末画面を操作して、各児童生徒の端末へ、受検開始や合格承認を送信することができます。
- ◆ 教師会員は、児童生徒の読Qポイント(検定に合格、またはクイズ作成や本の登録で獲得するポイント)と、クラス内のランキング表を見ることができます。個々の児童生徒のマイ書齋を閲覧し、読書履歴を見ることも可能です。
- ◆ 教師会員は、児童生徒へ読書アドバイス等のメッセージ送信ができます。相手のマイ書齋連絡帳に表示されます。
- ◆ 司書会員は、一斉検定の試験監督はできません。それ以外は、司書会員は教師会員とほぼ同じ機能を持ちます。

3. 読Q本のページ

読Qに登録された本のページの紹介



- ①書店サイトで見ると: この本を購入、または書店サイトで情報を見たい場合にクリックすると、リンク先へ遷移します。(学校内などアクセス制限のある場所の場合は遷移しないことがあります)
- ②書籍タイトル: 著者名をタップすると、読Qに登録されている著作が一覧表示されます。
- ③表紙: 表紙画像が表示されている場合は、タップすると書店サイトへ遷移します。
- ④帯: この本の検定に合格した人は帯文を投稿できます。いいね！の数の上位2人の帯文がここに表示されます。
- ⑤この本を受検する: 受検画面へ遷移。受検資格のない人や、まだクイズ募集中の本の場合はクリックできません。
読みたい本に登録する: 自分の読みたい本リストに入れることができます。入れておくと受検時にも便利です。
クイズを作る: クイズを募集中の本の場合、クリックしてクイズを作ることができます。まだ受検不可の本です。
監修者に応募する: 監修者を募集中の本の場合、監修者はクリックして立候補できます。これもまだ受検不可の本。
- ⑥帯文を投稿: この本の検定に合格している人が投稿できます。投稿した帯文を削除するのはマイ書斎から行います。
帯文にいいね!: この本の検定に合格している人は、他の人や自分が投稿した帯文に、いいね！が押せます。
もっと見る: 下位の帯文を見ることができます。合格していない人も、投稿されている帯文を全部見ることができます。
- ⑦人気本ランキング: 読Q内で、この本の読者が最も多い世代と、その前後の世代が読んでいる本の中での順位です。
- ⑧この本を読んだ時の年齢: どの世代の男女がこの本を読んでいるのかわかるグラフです。
- ⑨読Q本ポイントと出題数: この本の検定に合格すると獲得するポイント、出題数、今までの合格者数など。

⑩読Q本の分類と、功労者名：この読Q本のジャンルや形式、および、この本の検定問題作成の功労者名(本の登録者、この本の監修者、検定クイズ作成者)。クリックすると、その会員の公開マイ書斎を閲覧できます。

⑪推薦図書：受検合格直後に出されるアンケート「この本は皆におすすめしたい良い本ですか。」に対して「はい」と答えた人の数。また、読Q独自に良書と認定している本は、推薦図書に認定されています、と表示されます。

⑫マイデータ：この本に関する、ログイン者の情報です。合格済か、読みたい本に登録済か、クイズ作成者か等。

⑬書籍データ：タイトル、著者名、出版社のほか、読Q本としてのIDが表示されます。

⑭この本の検定の合格者を検索： 姓名または読Qネームを入力して検索ができます。但し、この本の合格を非公開にしている人は検出されません。中学生以下も表示されません。

⑮クイズストック：この本の監修者とクイズ作成者はクリックできます。これをクリックすると、クイズストックを閲覧できます。但し、この本のクイズ作成者が閲覧できるのは、自分が作成したクイズだけです。

⑯SNS でこの画面を紹介：この画面の URL を含んだ、閲覧者の SNS 投稿画面へ遷移します。読Q本の紹介ができます。

4. マイ書斎

トップバーから マイ書斎を開いた画面のご紹介

①読Qからの連絡帳： 合否、昇級、本の登録やクイズの認定、その他、読Qからのお知らせが表示されます。

②現在の読Q資格： 現時点での読Qポイント、読級などが表示されます。

③監修者募集中の本： 監修者会員に表示されます。このリストから、好きな本への立候補ができます。

④監修した本リスト： 監修者会員に表示されます。このリストから、クイズや帯文の管理画面へ遷移できます。

⑤3か月で獲得するポイント推移： 3か月ごとの獲得ポイントを、同年代の平均値と比較するグラフです。

⑥マイ本棚： 読Qの受検で合格した、すべての本が並びます。並べ替えもできます。

①読Qからの連絡帳： 合否、昇級、本の登録やクイズの認定、その他、読Qからのお知らせが表示されます。

②現在の読Q資格： 現時点での読Qポイント、読級などが表示されます。

③監修者募集中の本： 監修者会員に表示されます。このリストから、好きな本への立候補ができます。

④監修した本リスト： 監修者会員に表示されます。このリストから、クイズや帯文の管理画面へ遷移できます。

⑤3か月で獲得するポイント推移： 3か月ごとの獲得ポイントを、同年代の平均値と比較するグラフです。

⑥マイ本棚： 読Qの受検で合格した、すべての本が並びます。並べ替えもできます。



⑦監修応募履歴: 監修者会員に表示されます。今までに応募した本のリストです。

⑧読みたい本リスト: 読みたい本に登録した本が表示されます。このリストからも受検画面へ遷移できます。

⑨読書推進活動ランキング: 本の登録およびクイズ作成によって獲得したポイントの全国ランキング表です。

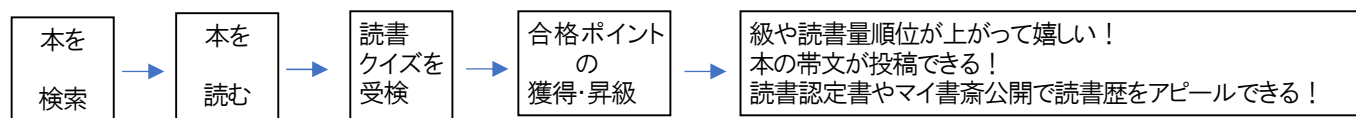
⑩読Qマイ読書量順位グラフ: 同年代の読Qポイント順位グラフ。期間や地域ごとの、自分の位置がわかります。

- ⑪読Q活動の履歴: ここからまとめて公開非公開を操作できます。各項目はサイドバーからも遷移できます。公開非公開を確認するには、サイドバーの「他人から見たマイ書斎」を表示させて確かめることもできます。
- ⑫読Q活動の全履歴: 受検、クイズ作成、本の登録についての、最近の履歴をまとめて表示します。
- ⑬合格履歴: 合格履歴リスト。1冊ごとに公開非公開が選べます。公開にした本は、合格履歴リストが非公開でも、マイ本棚が公開であれば他者からの閲覧に表示されます。非公開にした本は、マイ本棚や合格履歴リストが公開であっても、他者から閲覧の際、その本は表示されません。その本の読Q本ページの合格者検索でも検出されません。
- ⑭ポイントランキング: 読Qポイントの同世代内の順位表です。プルダウンメニューで他の世代と比べることもできます。
- ⑮本の登録認定記録: 読Qに登録して認定された本のリストです。
- ⑯作成クイズの認定記録: 読Qの検定問題として認定された、作成クイズのリストです。
- ⑰読Qレポートバックナンバー: 読Qレポートとは、四半期の末日に、各四半期の読Q活動をまとめたレポートです。バックナンバーでは直近3年分閲覧ができます。最新の読Qレポートは、四半期の末日になるまで数値等が未確定です。
- ⑱帯文投稿履歴: 自分が投稿した帯文を閲覧、削除できます。この帯文投稿履歴は公開され、他人が閲覧できます。
- ⑲試験監督履歴: 試験監督をした履歴(日時や受検者情報等)と、監督した人数等による貢献度順位を確認できます。
- ⑳読書認定書の発行: 学校や企業などへの提出用に、読書認定書が作れます。読書認定書によって、当協会から認定された読書量と読書歴を、提出先に見せることができます。発行方法は、第2章の5をご覧ください。
- ㉑試験監督をする: 初めて試験監督をする前に、適性検査を受け、顔認証登録(基本情報から)を済ませます。適性検査は20歳以上の会員が受けることができ、また、合格するまで何度でも受け直すことが可能です。
- ㉒会費払込済み期間: 払込方法と、支払済み会費の有効期間を表示しています。その他の支払は「こちら」から行います。
- ㉓基本情報: 基本情報は、編集・更新したら最後に「保存」をタップします。更新をすると、「基本情報を更新しました」というEメールが届きます。なお、基本情報の閲覧と編集には顔認証が必要です。初めて顔登録をする場合も「顔認証」をタップします。公開になっている基本情報を確認したい場合は、「外部から見た基本情報」をタップすれば閲覧できます。
- ㉔顔認証 ※ 受検や試験監督をする方は、事前に顔認証登録を済ませておきましょう。
- ◆初めての顔登録: 顔認証ボタンをタップ→ パスワードを入力→ カメラ使用の許諾ポップアップが出たら許可をタップ→ レンズを顔の正面に据えて、レンズを見ながら画像の下にある赤いボタンをタップ(機種により、撮影タイミング等が異なり、数秒~十数秒かかります)→ その画像で良ければ、「この顔画像で登録」をタップ。良くない場合は再撮影できます(機種によってはパスワード入力からやり直す必要があります)。顔登録後、数日の間に、当協会にて本人確認書類の写真との照合を行います。照合が出来ないなど問題があった場合はメールでご連絡させていただきます。

- ◆ 前回の顔登録から1年が過ぎると：受検などの顔認証時に、初めての顔登録と同じ手順で顔登録させていただきます。
- ◆ 顔登録後の顔認証：レンズを見て「認証する」をクリックします。受検、試験監督時、基本情報閲覧更新時に行います。
- ②⑤学校ランキング：読Q利用中の小中学校に所属している会員に表示されます。クラス対抗や学校対抗を閲覧できます。

第2章 検定面の説明

読Qの検定を活用して読書意欲を継続する流れ



1. 本の検索（受検できる本をさがそう）

トップバーの「受検」、「クイズを作る」、「本の検索」のどれをクリックしても、本の検索画面になります。受検をするにもクイズを作るにも、まずは目当ての本が読Q本に登録されているのか、読Q本にはどんな本があるのか、検索するところから始まります。

詳細は、検索画面内の「検索のしかた」と「検索結果の見方」をご覧ください。

読みたい本リストの活用について

- ◆ 本の検索をして読んでみたい本が見つかったら、読Q本のページの「読みたい本に登録する」をクリックして、読みたい本リストに入れておきましょう。
- ◆ 読み終わった日を入力しておくと、すぐに受検できる本が一目瞭然です。「受検」をクリックすれば受検が始められます。
- ◆ 学校内受検の場合は、読み終わった日の入力をしておくと、受検できる本があることを教師側が把握できます。

2. 受検

読Qの検定は、本の内容に関する〇×クイズです。所要時間は本1冊につき5分ほど。マンツーマンで試験監督をしてくれる読Q会員がいれば、スマートフォンやタブレット、PCで受検することができます。事前に顔登録を済ませておきましょう。直近で読Q本に認定されて受検が可能になった本は、トップページの「新しい読Q本」から見ることができます。

受検開始までの流れは3通り

- ① 検索結果画面 → 「この本を受検」をタップ
- ② 読Q本のページ → 「この本を受検する」をタップ
- ③ 読みたい本リスト → 「受検」をタップ

試験監督について（会員校内での一斉受検を除く）

- ◆ 読Q受検には、試験監督が必要です。受検開始から終了まで、試験監督は不正がないよう受検者と受検者の受検画面を見守ります。
- ◆ 試験監督は、適性検査に合格した20歳以上の読Q会員（家族を除く）が、務めることができます。（適性検査は合格するまで何度でも受けることが可能です）試験監督履歴はマイ書齋内に記録されます。
- ◆ 試験監督は、パスワード入力と顔認証を、受検者の端末で行います。（**パスワードを受検者に知られた場合は、検定終了後速やかにパスワードを変更してください。**マイ書齋の基本情報で変更できます。）
- ◆ 受検者の端末に合格を示すポップアップが出たら、試験監督は再び受検者の端末で顔認証を行い、合格を承認します。
- ◆ 受検者に不正があった場合、試験監督は受検画面の「中止する」をタップします（不合格となります）。または合格ポップ

アップ画面が出た後10分間に試験監督による顔認証をしない、または「不合格に変更」をタップすると不合格になります。

禁止事項について

受検者は、問題を声に出して読む、カンニング、人と会話する、スクリーンショット取得、メモを取る、試験監督から受検画面が見えないようにする、その他不正が疑われる行為をしてはいけません。受検者がこのような行為を行った場合、試験監督は、受検を中止、または受検後に不合格とすることができます。

受検の流れ

- ① 受検者の本人確認： 受検者は、受検説明画面を確認、同意後、パスワード入力と顔認証による本人確認をします。（すでに顔認証登録が済んでいる方はパスワード入力がスキップされ、顔認証画面へ）カメラ使用の許諾ポップアップが出たら許可をタップ。レンズを顔の正面に向けて「顔認証」が●をタップします。（端末の機種により、撮影タイミングや所要時間、画角等が異なります）
- ② 試験監督の認証方法を選択： 一般の受検者は「顔認証」に☑を入れてください。（学校内一斉受検の場合は、先生の認証です）
- ③ 試験監督の本人確認： 試験監督が、受検者の端末で、パスワード入力と顔認証をおこないます。（学校内の一斉受検の場合は顔認証ではなく、教師が受検者の受検画面にリモート認証します）
- ④ 受検スタート： 本のタイトル、出題数や回答方法の説明文を確認し、「受検スタート」をタップすると、第1問が始まります。
- ⑤ 傍線部が、本の内容と合っていれば○(①)、違っていれば×(②)を選択します。「次へ」が表示されるのでタップします。前問に戻ることはできません。また、正答したのか誤答したかの表示は出ません。
- ⑥ 1問の回答時間の制限： 1問の制限時間は30秒です。20秒経過すると「あと10秒」と表示されます。超過すると不正解となり、自動的に次問へ移動します。
- ⑦ 8割以上の正解、または2割以上の不正解が判明した時点で受検終了となり、合否が表示されます。例えば、問題数8問の本を受検の場合、最初から連続して不正解すると、2問回答した直後に「不合格」表示が出て終了してしまいます。



合格の表示が出たら

- ① 一般の受検者の場合は、再び「顔認証」に☑を入れます。（校内受検の場合は「先生の認証」に☑を入れます。）
- ② 試験監督が顔認証をして合格を承認することで、正式に合格が確定します。（校内受検の場合は先生からリモート認証をしてもらうことで、合格が確定になります。）
- ③ 良い本かどうかのアンケートが表示されるので回答します。
- ④ 不正などがあって不合格に変更する場合は、試験監督の認証を行わずに「不合格に変更」をタップすると不合格に変わります。10分間に試験監督による認証が完了しない場合も不合格になります。または試験監督が顔認証する画面で「戻る」をタップすることでも不合格に変更されます。
- ⑤ 合格後、続けて別の本の受検が可能です。画面の指示に従ってください。

不合格の表示が出たら

- ① もう1回、同じ本を再受検できます（1回目とは違う問題が出題されます）。その場合、本人と監督の認証はありません。
- ② 2度目の受検をしなかった場合、または2度目も不合格だった場合は、その時点から3日間（72時間）その本の受検はできません。別の本であれば受検できます。あらためて本人と試験監督の認証を行います。
- ③ 不合格の場合、試験監督による認証はありません。

ポイントの獲得について

- ◆ 合格ポイント…合格すると、読Q本ポイント（その本の所定合格ポイント）が、あなたの読Qポイントに加算されます。
 - ◆ 短時間加算ポイント…受検開始から終了までに要した時間が所定時間の半分以下で合格した場合、その書籍の読Q本ポイントの1割の加算ポイントを得ることができます。
- 例：問題数10問の読Q本の場合、短時間加算ポイントは… $30 \text{ 秒} \times 1/2 \times 10 \text{ 問} = 2 \text{ 分 } 30 \text{ 秒}$
2分30秒以内に合格すれば、1割加算された合格ポイントを獲得できます。

3. ポイントと級

読Qポイントについて： ポイントは、本の長さや難易度によって算出され、読Q本1冊1冊に設定されています。

読Qでは、検定の合格、本の登録、クイズ作成という3項目で獲得した読Qポイントの合計で読書量ランキングが決まります。

いちばん多くポイントを獲得できるのはもちろん、検定合格です。合格すると、その本に設定されている読Q本ポイントの

100%を獲得できます。(短時間で合格すれば10%の加算があります。)

読Qポイントの獲得は、検定合格で読Q本ポイントの100%、本の登録で10%、作成クイズ1問につき10%(但し10問まで)です。本の登録、クイズ10問以上作成、短時間合格を達成すれば、1冊から220%のポイント獲得が可能です。

級について：読Qの級は、正式には「読書認定級」といいます。略称「読級」です。読級は、読Qポイントの積み重ねで決まります。検定の合格やクイズ作成などによるポイント獲得により、昇級すると、マイ書斎の連絡帳に連絡が来ます。

何級を持っているかによって、読書量がわかります。

ポイントと級についての詳細は、トップバーの「読Qとは」のプルダウンメニュー内、「ポイントのしくみ」をご覧ください。

4. 合格した場合（会員校の画面も紹介）

合格すると嬉しいこと

- ① **読Q合格履歴に記載：**読Q受検に合格すると、マイ書斎内「読Q合格履歴」に、合格日、獲得したポイント、試験監督名などが入力されます。
- ② **合格の公開非公開の設定：**読Q合格履歴の表で、合格の記録を1冊ごとに公開非公開設定が出来ます。(中学校卒業までの年齢の会員は、マイ書斎自体が「中学生以下」と表示され匿名です) あなたの合格が、他の人の読書意欲につながります。ぜひ、読んだことを皆に公開にしましょう。操作しなければ、非公開のままになります。(読Q会員校に所属している児童生徒については、合格本を非公開にしている場合、所属校の教師会員には公開されます。)
- ③ **読Qポイントが加算：**あなたの読Qポイントに、今回の合格で獲得したポイントが加算され、それによってマイ書斎内の読書量ランキング各種の順位が上がって行きます。
- ④ **級が上がる：**積み重ねたポイントが所定のポイント量に達すると、級が上がります。合格などによるポイント獲得で昇級すると、マイ書斎内連絡帳へ読Qからお祝いメッセージが届きます。
- ⑤ **マイ本棚に本が増える：**合格した本は、マイ本棚に入ります。合格履歴で公開にした本は、他人から見た場合のマイ本棚でも表示されます。ぜひあなたの本棚を公開して、今まで読んできた本を皆に見てもらいましょう。
- ⑥ **合格者検索：**その書籍の読Q本ページ内にある、「この本の読Q合格者を検索」で、あなたが検出されるようになります。(但し、あなたが「読Q合格履歴」で、この本の合格を非公開に設定している場合は、検出されません)
※ 自分の膨大な合格履歴から特定の本の合格を確認するには、合格履歴の著者名ソート、または読書認定書発行プレビュー(20冊リスト付き認定書→検索)が便利です。
- ⑦ **読書認定書が作成できる(有料)：**あなたの今後のキャリアに有用な本を読んだのなら、読んだ本(合格本)のリストや現在の級を記載した「読書認定書」を作成して、入試や進級、就活や社内昇進制度などの参考資料として活用することが可能です。読書認定書は、読書歴と読書量を証明する文書です。読書認定書であなたの教養を証明しましょう。読書認定書は、パスコードの提出を受けた側が、読Qのトップページで入力し、WEB上で閲覧する形式の証明書です。
- ⑧ **読Q本の帯文(おすすめ文)を投稿：**新刊に巻いてある帯のように、たくさんの本に、あなたが帯をつけて、読Q本ページを充実させましょう。埋もれている本を掘り起こしましょう。合格者は、その読Q本ページに19文字以内の帯文を投稿できます。(川柳を意識して19文字としました。)読Qの「本の検索」では、全ての読Q本の帯文を検索できるので、あなたの作った帯文から、その本に辿り着く人がいるかもしれませんね。
- ⑨ **いいね！投票：**自分や他の人が投稿した帯文に、「いいね！」投票ができます。読Q本の帯には、「いいね！」の多い順上位2つの帯文が表示されます。良い帯文には、ぜひ「いいね！」をつけてあげましょう。いいね！は何人にでもつけることが可能です。

以上のような、嬉しいことによって、読書意欲を継続させるのが、読Qの読書推進です。

なお、読Qの会員校では、クラス内や学校対抗の読書量競争もできます。

学校教師画面：読Q会員校における、クラス内の読書量レース

下の図は、教師が見ることができる画面の一例です。クラスでの読書量レースで勝つのは、児童生徒にとって刺激になり、読書意欲のアップにつながるかもしれません。この表の活用は教師の裁量です。（児童生徒が閲覧できるのは、クラス対抗、学校対抗など団体間のレースだけです。）ぜひ読Qを使って、学校でも読書推進をしましょう。

読Qトップ > 団体教師トップ > クラス内の読書量 > 今年度通算順位

クラス内今年度通算ポイント順位 (2019.4.1~2020.3.31)

2-1 坂田 千夏学級 / 2019年度 2名

2019.12.06 現在

2019年度に獲得

今期ポイント順位 前回ポイント順位 今年度通算ポイント順位 生涯ポイント順位 直近の読Q活動を見る

名前	カタカナ	読Qネーム	級	性別	今年度通算ポイント	クラス内順位 /2	学年順位 /2	市区町村内順位 /7	都道府県内順位 /7	全国順位 /10
田口 鈴江	タグチスズエ	suzue01811	10級	女	2.78	1位	1位	1位	1位	1位
津川 真之介	つがわしんのすけ	sinnosuke03562	10級	男	0.88	2位	2位	2位	2位	3位
					合計	3.67				
					クラス平均	1.83				

5. 読書認定書の発行方法

読書認定書は、当協会が、会員の読書量と読書歴を証明する正式書類です。就職、入試、課題などに活用してください。

◆ 読書認定書は下記4種類から選べます。同時期に複数種類の読書認定書を発行することも可能です。

- ①現在のポイントと級のみ表示
- ②現在のポイントと級および公開している全ての合格履歴を表示（非公開に設定している書籍名は表示されません）
- ③現在のポイントと級および選択した合格履歴を表示（20冊まで）
- ④選択した合格履歴（20冊まで）のみ表示

◆ ③④の、20冊の合格履歴を表示するタイプの読書認定書の場合、読Qの合格履歴から検索を繰り返して、20冊までリストに入れることができます。検索結果から選択してリストへ挿入します。

（注：リスト挿入後は並べ替えができません。リストに載せる順番を考えながら検索・挿入しましょう）

◆ 読書認定書の発行は有料です（1通300円）。プレビュー後、決済ボタンから「今すぐ購入」をタップして PayPal サイトに移動します。決済が済むと、パスコード（6桁の数字）がマイ書斎連絡帳へ通知されます。

◆ 読書認定書の期間延長：読書認定書の閲覧有効期限は6か月です。期限内なら6か月の延長が可能です（300円）。

◆ 読書認定書の活用：パスコードを読QのURLとともに企業や学校へ提出 → 提出を受けた側が、読Qトップ画面の入力欄にパスコードを入力して閲覧（ログインしなくても閲覧可） → 嘘偽りのない読書量と読書歴を示すことができます。

第3章 読書推進活動面の説明

読書推進は、社会貢献活動です。

読Qは、本を読むきっかけを作って読書を推進し、人々の自己開発力を高めようという、社会貢献活動です。

その読Qのコンテンツを作る3つの活動(本の登録、クイズ作成、本とクイズの監修)と、検定を補助する活動(試験監督)は、まさに社会貢献活動です。読Qでは、これら4つの仕事について、皆様にご協力をお願いしています。これら4つについて説明します。

1. 本の登録（本を読Qに登録し、ポイントの設定をする）

読Qは、読書クイズ受検によって、本を読み終わったことを証明する検定事業により、読書推進を行っています。そのためには、星の数ほどの書籍のクイズ問題を用意しなければなりません。ぜひ私たちとともに、好きな本の読書クイズを作ってください。そして沢山のの人にその本を読んでもらいましょう。

本の登録画面の一部（スマートフォンでも登録できます）

検定クイズを作るために、まず本を読Qに登録します。トップメニュー「本の検索」で検索して、まだ読Qに登録されていない書籍なら登録できます。「まず本を登録する」をクリックして、手元に登録する本を用意して、登録開始です。

読Qに登録できる本の種類

①読Qに登録できる書籍は、ストーリークイズ(本文の内容についての正誤クイズ)を作ることが可能な形態の良書で、出版社から出版された本でなければなりません。読Qの出

題形式に合う書籍なら、文学でも教養書やビジネス書でも登録できます。

②単行本、文庫、新書などの他、電子書籍や青空文庫の本も登録できます。

③何巻にも渡る本や、短編集、オムニバス形式の本は、1冊ごとに読Q登録します。但し、青空文庫にある短編などは、青空文庫から登録してください。

④写真やイラスト集、漫画、ライトノベル、字の少ない絵本、官能小説、雑誌、図鑑、自費出版本、訳が必要な古語や日本語以外で書かれた本、縦書きでの出題が難しい本、その他、読Qの出題形式に合わない本は、対象としません。

読Q本ポイントを設定

ポイント設定に一番重要な要素は、本の字数です。本の登録は、本の正当な内容量(読Q本ポイント)を決めるという役割を担っています。例えば、同じ大きさで同じページ数の2冊の本であっても、字数、行数、空白やイラストの量、推奨年代、難易度やジャンルなどを換算して読Q本ポイントを決定しますので、ポイントは同じにはなりません。

※イラストや空白が多い本は作業量が多いです

文庫などのように、どのページもほぼ同じ文字量の本は、比較的簡単におおよその総字数が割り出せます。ところが挿絵や空白部分が多い本の場合、その部分を差し引く作業が入るので、作業量が多くなります。お手数ですが、正確な読書量を測るため、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

字数カウント済の本を登録する場合…青空文庫をワードやグーグルドキュメント等へのコピペで字数カウントした場合や、出版関係者等で総字数がわかる場合は、最初に「字数カウント済の本」を選択し、16番の総字数欄に直接入力してください。

7. 出版社（全角）

8. 分類・ジャンル(4つまで選べます)

9. 推奨年代、難易度

10. 表紙画像のファイルを添付してください。

11. ネット商店のURLがあれば貼付してください。

本の内容量を測定して、読Q本ポイントを算出します。
※青空文庫など総字数をカウント済みの場合は、16番の総字数欄に直接入力してください。

12. 本文の最終ページは何ページですか。

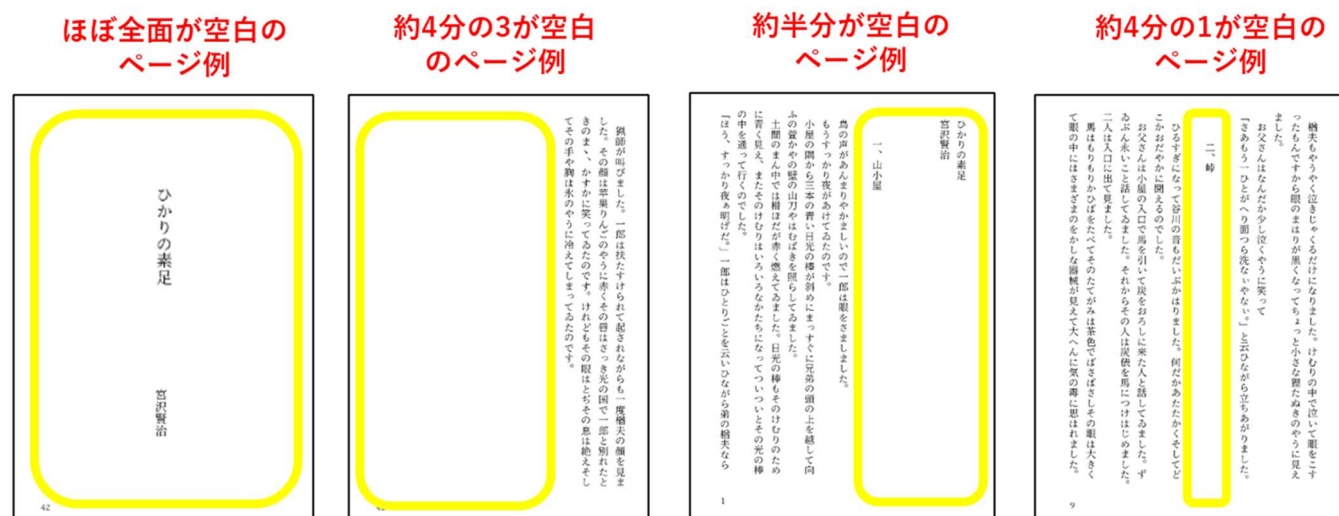
13. 1ページ内に最大で何文字入るかを測定します。
a. 行数... 1ページの中には最大で何行ありますか。
b. 字数... 1行の中には最大で何文字ありますか。

14. 空白部分(挿絵、目次などを含む)があるページ数を数えます。
a. 空白ページ、全面イラストページ、目次、解説などのページは、何ページありますか。
b. 4分の3が空白やイラストで、4分の1に字が書かれているページは、何ページありますか。
c. 半部分が空白やイラストで、半分に字が書かれているページは、何ページありますか。

字数カウントしていない本を登録する場合…指示に従って作業してフォームに入力いただくと、5つのモデルページを使って字数を行単位で把握することで、おおよその字数が自動で算出されます。

◆読Q独自の、おおよその字数カウント方法のしくみ

①空白の量をしらべます



上図のような、字の無い部分を含むページを4種類に分類して、空白部分をかぞえ、全体から差し引きます。

②5つのモデルページを使って、字数が半分未満の行を数えます → 文字密度を算出

字数ゼロの行とみなす。

字数が最大の行とみなす。

モデルページは5つとも、左図のように全ての行に字があるページを使います。

(字数ゼロの行が1行、字数が最大の行が14行なので、このページの文字密度は14/15ということになる)

③②で算出した文字密度を、①の文字部分に掛け合わせます → おおよその総字数が判明

推奨年代や難易度について

算出されたおおよその総字数に、その本の推奨年代や難易度によって設定した係数を使用して、読Q本ポイントが設定されます。例えば、中学生以上が読める難易度の本の係数は1です。そして小学校1年生向けの本の係数は0.2としています。また、名作、学術、教養など難易度の高い本の係数は、1.5、古典は2.0と設定しています。この係数によって、たとえ同じ字数であっても、子供向けと大人向けの本では、読Q本ポイントが大きく異なるのです。

本を登録すると

- ◆ 本を登録した人の特権で、続けてクイズを作成できます。(但し、本が認定されなかった場合はクイズも削除されます。)
- ◆ 読Q本に登録し、当協会によって審査・認定された本は、正式な読Q本となり、トップページの「クイズ募集中の本」および「監修者募集中の本」リストに入ります。会員はこの本のクイズ作成や監修者立候補ができるようになります。
- ◆ 功労者として、登録者の名前または読Qネームが、読Q本ページに掲載されます。
- ◆ 読Q本として認定されると、読Q本ポイントの10%のポイントがもらえます。
- ◆ 認定結果は、マイ書齋内連絡帳へ通知が届きます。
- ◆ マイ書齋内の、読Q活動の記録に、本の登録・認定記録が追記されます。

2. 検定クイズを作る

読Qの検定クイズは誰にでも作れます。： 普通は、「検定試験」というと厳正なイメージがあり、偉い人が作らないといけないのでは、と思いますよね。でも読Qのクイズ受検は、本を読み終わったことを確認する、所要時間がたった5、6分の検定試験です。1回の受検で能力を決定づけるような性質のものでなく、沢山のクイズ受検の積み重ねが級になります。したがって、クイズ検定問題を作る人は、必ずしも国語の専門家である必要はない、と私たちは考えています。

ぜひ、トップページの「クイズ募集中の本」の中から好きな本を選んで、クイズを作ってみましょう。

監修者会員が認定クイズを選定： 集まった作成クイズを選定して、正式な読Qの検定問題として認定する作業は、その判断をするに相応しい職歴や学歴、または十分な検定クイズ作成経験を持つ、監修者会員の方をお願いしています。

本を担当する監修者は、マイ書齋内の「監修した本リスト」から、クイズ選定や帯文管理などをおこないます。監修者も担当する本のクイズを作成できます。

読Qの検定は〇×クイズ： 読Qの読書クイズは、読書をする全ての年代の人が対象なので、作りやすさと答えやすさを考慮して、〇×の正誤問題としました。受検者は、問題文の傍線部が本の内容と合致していれば〇、本の内容と違っていれば×を選びます。

クイズ作成によって作品の理解も深まる： 明治大学の齋藤孝教授がご著書「読書力」の p186 で推奨している読書クイズ作りは、「作品の本質をつきながらも、具体的なクイズがベスト」だそうです。また、センスのいいクイズを作ろうとするうちに作品の理解も深まるので一挙両得であるとのこと。

クイズストックは多いほど良い： 読Qクイズは沢山のクイズストックの中からランダム出題という形式なので、クイズストックが多いに越したことはありません。読書クイズをどんどん作って読Qの検定を充実させて、これから読書する無数の人々のために、読む本の選択肢を増やしてあげましょう！

優先的にクイズを作る権利： 本を登録した人は、そのまま続けてクイズを作ることができます。これは本の登録者だけの特権です。他の人は、登録された本を読書認定協会が承認して「クイズ募集中の本」のリストに載せてから、そこから選んでクイズ作りをします。もしも同じ内容のクイズが投稿された場合、先に投稿した人を優先するという原則があるため、一番早くクイズ作成ができる本の登録者は、たくさんのクイズを認定クイズにできる可能性があるのです。

クイズ作成者は2名以上： 1冊の本のクイズ作成者は、監修者を含めて2名以上としています。なるべく多くの人の手による検定クイズのほうが、偏りが少なくなり、望ましいと思われます。但し、著者本人による作成の場合は例外となります。

クイズ作りの要件

①読Qでは、クイズの作りやすさ、答えやすさ、採点のしやすさ という三つの理由により、問題文は、「傍線部が本の内容と合っているかどうか」を問う、二択の問題形式としました。

②文脈からの具体的な出題とし、「読んだ人なら必ず正答でき、読んでいない人には正答を推測するのが困難なクイズ」を創作します。

クイズの作成方法詳細は、「クイズを作る」の「クイズを作る際の注意」をご覧ください。トッパー「読Qとは」の「受検問題サンプル」のページも参考にしてください。

クイズが読Qクイズに認定されると

- ◆あなたの名前または読Qネームがクイズ問題および読Q本ページに載ります。(掲載しない選択も可)
- ◆ポイントがもらえます。本の登録と同様に、ポイントが獲得でき、あなたの読Qポイントに加算されます。本の登録と同様に、読Q本ポイントの10%のポイントを獲得できます。1問毎に獲得できるのですが、上限は10問まで。クイズはいくつでも作成していただけますが、10問以上認定されても、ポイントは10問までの分しか獲得できません。
- ◆クイズが認定されると、マイ書齋内連絡帳へお知らせが届きます。早速受検をして、さらにポイントを獲得しましょう。

3. 試験監督をする

◆インターネットを使った検定です：読Qの受検は、検定試験であるため、本人確認や、検定中に不正がないか等を管理する必要があります。従来の検定試験といえば、会場で実施するのが一般的でした。しかしながら、読Qの検定は、本1冊につき所要時間5, 6分の検定試験であり、読書を完了したかどうかの確認テストという、易しい試験です。これをわざわざ申し込んで試験会場へ出かけるというのは現実的ではありません。インターネットが普及した今、WEBによる受検を実現したのが読Qです。

◆不正を防ぐ：インターネットがあれば、いつでもどこでもネットで受検できるのはいいのですが、それで不正な合格を許してしまえば、教養を証明して社会に認められるための検定試験とはなり得ません。どうしても試験監督は必要です。試験監督をしてくださる会員のお力で読Qは成り立っています。

◆受検者を見守る：試験監督は、受検者が受検中に他の人に答えを聞く、カンニングをするなどといったことが無いように見守ります。不正があった場合は、受検画面の「中止する」を押すか、合格ポップアップで「不合格に変更」を押す、または10分間顔認証しないと不合格に変わります。

◆試験監督は2種類：読Q会員校に所属する一般会員が校内で一斉受検をする場合、教師会員が試験監督となって、複数の児童生徒の受検を一括で監督します。

それ以外の受検については、そばで試験監督してくれる会員が1人いれば、読Q受検をすることができます。試験監督は、家族以外の20歳以上の会員ならだれでもできます。(事前に簡単な適性検査を受けておく必要があります)

◆手順：個人の会員が試験監督をするには、受検者が顔認証をしたのに続けて、受検者の端末で、試験監督がパスワー

ド入力と顔認証を行います。検定開始後、受検者の端末に合格のポップアップが表示されると、試験監督が受検者の端末で再び顔認証を行うことで、正式に合格を承認します。不合格だった場合、顔認証はありません。読Q会員校内の、教師会員による一斉受検の場合は、試験監督の顔認証はありません。

トップページとマイ書斎の「試験監督をする」にて、監督した相手の情報と、監督回数や実人数の順位がわかります。

試験監督の手順(すべて受検者の端末で行う)



◆**注意：** 読Q試験監督は、不正合格を防ぐため、厳正に監督をする必要があります。そのため、もしも試験監督としての資質に問題がある旨の通報があった場合は、その真偽に拘わらず、それ以後試験監督ができなくなることがあります。ご了承ください。

4. 監修者会員になる

監修者会員は、一般会員と同じ権限に加えて、読Q本の検定クイズを選定・管理し、読Q本ページの帯文を管理できます。一般会員の方は、当協会に申請し、当協会がそれを受理すれば、途中からでも監修者会員に変更することが可能です。マイ書斎の「監修者になる」から申請してください。読Qの検定クイズを選定するに相応しい職歴や学歴をお持ちの方や、既に沢山の作成クイズが読Qに認定されている方も、ぜひ申請してください。

◆ 本の監修者になるには、トップページかマイ書斎内の「監修者募集中の本」から本を選びます。その本の「監修者になる」ボタンをタップして、スクロールすると理由入力欄があるので入力・送信し、監修者に立候補します。

◆ 監修者会員になっても、立候補者が多い等、協会側判断で、希望する本を監修していただけない場合があります。

5. あしなが援助賛同会員になる

あしなが援助で、低所得世帯のお子さんの会費を全額肩代わりすることができます。月額100円の会費を200円に、または、年額1000円を2000円にするだけで、1人のお子さんの読書推進ができます。詳しくは第1章をご覧ください。途中からでも、あしなが援助をすることは可能です。

第4章 いろいろな人の読Q活用

読Qは、いろいろな活用方法が考えられます。以下の例を参考に、独自に読Qを活用して、どんどん読書を推進しましょう。

小学生女子さんの読Q活用例

本を読み終わった。→仲良しの雅美ちゃんの家で、雅美ちゃんママが試験監督をしてくれて読Q受検した。→合格→ポイントがもらえたら、7級に上がった！→グラフを見たら、私は市内の同級生の中で、読Q本の読書量の順位が86番だった。→順位が上がって嬉しいな！

中学生男子さんの読Q活用例

本を読み終わった。→で、担任の先生が試験監督をしてくれて、クラスメイトと共に読Q受検。→ぼくもみんなも合格！→クラスの平均読書量が上がった→読Q読書量ランキング表を見たら、今期はうちのクラスが学年で一番多く本を読んでいる！前の四半期は2組に負けただけ、今期は勝てそう。年度末に優勝できたらいいな。そして、うちのクラスが市で一番になったらすごいな。

高校生女子さんの読Q活用例

本を読み終わった。→まだ読Qに登録されていない本だ。→本を登録してクイズを沢山作った。→数週間後、その本が読Q本に認定された。→私の作ったクイズが認定クイズになった！ポイントももらえた！→その本の読Q本ページに私の読Qネームが載った！→大好きな本の読Q本ページに私の読Qネームが掲載されて嬉しい！好きな本をもっと読Q本に登録しよう！

大学3年生D君の読Q活用例

後輩の岡田から、読Qの試験監督をして欲しいと頼まれた→会員になったばかりだけいいのかな。→試験監督をするには、基本情報で顔認証登録をするのか。→試験監督適性検査に回答したら2回目で合格した。→さあ、岡田の読Q受検を監督するぞ→岡田のスマホで、岡田が顔認証→僕がパスワード入力と顔認証→岡田が5分間ほどスマホで読Q受検→合格表示が出たとのことで、また僕の顔認証→正式に合格→岡田に感謝された。→20歳以上は読Q試験監督ができるんだな。試験監督した人数の順位も出るのか。こういう読書推進ボランティアもいいなあ。

幼稚園の年長Eさんの読Q活用例

「くまの子ウーフ」をよみおわった。→お父さんから、読Qをやろう、といわれた。→日曜日に、あやのちゃんと、あやのちゃんのパパがきた。→しけんかんとくは、あやのちゃんのパパ。→私のかおが パソコンにうつった。→あやのちゃんパパのかおも うつった。→「くまの子ウーフ」の〇×クイズにこたえていたら、ごうかく、というのがでて、クイズがおわった。→あやのちゃんパパのかおも う1かいうつした。→パソコンの中のわたしの本だに、「くまの子ウーフ」が入った！→こんどは あやのちゃんが読Qをやるんだって。こんどは わたしのお父さんが しけんかんとくだって。

文系学部出身者さんの読Q活用例

あら、読Qで、大好きな本の監修者を募集しているわ。応募してみよう→学位記のコピーを送信して監修者になっておいてよかったわ。→読Qから、監修者に決定の連絡が来たわ！嬉しい！→どれどれ、どんなクイズを皆は作っているかしら。→十分な数のクイズが集まったから、どれ、クイズを選んで認定しましょう。→私がクイズを認定したら、この本が読Qトップページの「新しい読Q本」に載ったわ。→あら、私の名前が監修者として読Q本ページに載っている！光栄だわ。→読Q本のページの帯文もクイズストックも私が管理するのね。→本を監修すると、監修者プロフィールが載るのね！なんだか偉くなった気分が嬉しい！

身体が不自由な方の読Q活用例

家にいても、ベッドに寝たままでも、何か人の役に立てることはないかなあ。→え？読書推進活動？読Qのクイズ作り？→スマホで読Qを見ると、青空文庫にある本がクイズ募集中になっている。→スマホでその本を読書→クイズを作る。フォームがシンプルで、入力しやすい。→数週間後、その本が読Q本に認定された。作ったクイズが認定読Qクイズになった！→自分の名前が本のページのクイズ作成者欄に掲載された。→ベッドの上でボランティアが出来た！嬉しい！→よし、受検もしてみよう。

学校教師さんの読Q活用例

うちの学校が、読Q利用校になった。→学校内だから、試験監督は先生で、試験監督は顔認証しないのね。→学校のタブレットでいっぺんにクラス全員の読Q受検ができて効率がいいわ。→合格した子には、手元のスマホで合格承認ができるし、これは便利だわ。→読書量レース表の上位10人までの名前を発表したら、刺激になったみたい。→みんな読書するようになってきた！→3か月の中だけで読書量競争もできて、最近読み始めた子でもトップに立てるから、意欲が上がったんだわ！

オタクさんの読Q活用例

私は歴女。特に幕末が大好き。幕末のありとあらゆる本を読み漁ったわ。→読Qに、その本を沢山登録してクイズ作って監修者にもなって受検もしたわ。→私の監修者プロフィールとマイ書斎の読書歴を見たゲーム会社の人が、幕末のゲームを作りたいからアドバイザーをしてもらえませんか？って！→専門家になった気分！嬉しいな～

大学教授の読Q活用例

ゼミの学生たちに読んでもらいたい本を10冊ほど、読Q本に登録してある。→この中から好きな1冊を、来週までに読んでくる課題を出した。→次のゼミの時間に私が試験監督をして、学生たちに読Q検定を受けてもらった。全員合格したので、ちゃんと読んで来たことが確認できた。→その後、とても充実したゼミになった。やはりしっかり本を読むと理解の度合いが違う。

高校の読書サークル代表さんの読Q活用例

今度うちのサークルで読Q本登録を目指す本を、みんなで決めた。→鈴木さんが、その本を読Qに登録してくれた。→無事に認定されて、その本のページに「クイズ募集中」「監修者募集中」の表示が出た。→顧問の佐野先生が、監修者に応募した。→8章まである本なので、章ごとに担当を決めて、クイズを作成した。→みんなでクイズを発表し合い、より良いクイズ文に練り上げた。→そのクイズを、作成者がそれぞれ読Qに投稿した。→なんと佐野先生が監修者に選ばれた。でも先生は、公平にクイズ認定をする、と言っていた。→全員で65問投稿して、全問認定クイズに登録された！→佐野先生によると、87問クイズが集まって、私たちの65問は文章も良かったし、投稿が早かったので、全部採用できたそうだ。読Q本のページにみんなの名前が載って誇らしい！

公民館の読書サークル代表さんの読Q活用例

今日のサークルは、読Q開放デーだ。サークル員全員が、今日は読Q試験監督ボランティアをする。→ツイッターに場所と時間など#をつけて載せておいたら何人かから予約が来た。→読Qは会員制で、書類や顔登録で本人確認がしてあるから安心だ。→子どもから大人まで12人の人が来た。→みんなが手分けして、マンツーマンで試験監督をした。→5分ほどで1冊のクイズは終わるが、何冊も続けて受検する人もいた。→スマホを持っていない小学生には、サークル員のスマホやタブレットを使って受検させてあげた。→来週は、課題本のクイズ作りと、以前に全員が読んだ読Q本の帯文を話し合っって投稿するので、考えて来よう。

編集者の読Q活用例

作家さんの新刊がもうすぐ出版だ→出版までに読Qクイズを完成させなければ！→クイズを沢山考えた。→作家さんに、できたクイズをチェックしてもらった。→新刊発売日に合わせて、作家さんに依頼されてログインさせてもらい、監修者としてクイズを認定した。→読Q本のページに、作家さんの名前はもちろん、私の名前もクイズ作成者として掲載された！→読Q検定を受けたい人が買ってくれるといいな。→読Q本ページのいいところは、何と言っても読者が帯文を書けるところだ。→早く読んで一番に帯文を書きたい読者も、きつというだろうな。

中高一貫校代表者さんの読Q活用例

うちの学校の入学志願者が、読Qの読書認定書のパスワードを自己PR欄に書いてきた。→読Qウェブサイトに入力して開いてみた→ひと目で、その子が良書を数多く読んできたことがわかった。→伸びる子は、沢山本を読んでいる場合が多い。沢山読書してきている子はなるべく入学させたい。

企業の人事部長さんの読Q活用例

エントリーシートに、読Qの読書認定書パスワードの記載がある就活生がいる。→それを見ても、弊社の業務内容に関連する本を数多く読んでいることがわかった。また、中学生頃からの読書量がすごい。→この学生はぜひ面接してみたい。→新卒採用のみならず、社内の研修や昇進要件に、この読Qを使って社員に読んでもらいたい本を読ませるのかもしれない。

学童の指導者さんの読Q活用例

おやつタイムまでの時間に読書をさせたいわ→達也君が本を読み終わったので、私が試験監督顔認証をして私のスマホで読Q受検をさせてあげた。→合格したので、それを紙に書いて掲示板に貼ったら、とても嬉しそうだった。→また、茉莉花ちゃんが本のクイズを作ったので、私のスマホで読Qに投稿させてあげた。→数週間後に、それが読Qの認定クイズに登録されたそう。→全国の人が受検する問題を、茉莉花ちゃんが作ったんだね、すごいね、とみんなの前で茉莉花ちゃんを褒めた。茉莉花ちゃん、誇らしげだった。→児童が自己肯定感を持つことができて、読Qはとていい。

仕事が忙しい人の読Q活用例

なにか、人のためになることをしたいが、忙しくて時間がないなあ。→読Qで、あしなが援助？→低所得世帯のお子さんの読Q会費を全額肩代わり？→1人援助するのに、月額100円が200円になるだけか。それなら月々300円払って、2人のお子さんを援助しようかな。→(援助相手のマイ書斎を見て)おお、まだ小学生なのに結構本を読んでいるなあ。→僕も、通勤電車で電子書籍でも読んでみようかな。

介護福祉施設長さんの読Q活用例

読書好きでお元気な入居者、佐藤さんは、何か人のためになることをしたい、といつも言っている。→読Qでクイズを募集している本の中に、青空文庫のものがあつたので、読んで、クイズを作って投稿することを勧めてみた。→LINEに書き込むのと同じくらい簡単に投稿ができた、と喜んでいて。→数週間後、佐藤さんの作ったクイズが、読Q本の認定クイズに登録された。→読Q本ページに載った自分の名前を見て、佐藤さんは嬉しそうだった。→介護施設に入居していても読書推進活動ができる。すばらしい！

就活生さんの読Q活用例

自分は読書が大好きで、最近に入社希望の会社の業務に関する本も沢山読んだ。→エントリーシートには、読書した本を書く欄なんて無いけど、私のアピール材料は読書なのだ。→読Qの読書認定書というものがあって良かった～！→今はネット時代だから、私の膨大な読書歴もネットで提出できるのね。→読Qサイトにパスワード入力して閲覧してもらうシステムだから、読書歴詐称もできないし、私の読書量が証明できて、嬉しいわ！

専門家の方の読Q活用例

文学部の講師である吉村さんは、平安時代の古典が専門で、特に清少納言を中心に研究している。→関連本を読み、読Q本に登録してクイズを作成、自ら監修者になって、沢山の関連本を読Q本にした。→新しく登録するたびに、フェイスブックやツイッターで紹介し、つながっている研究者や文学愛好家が見て、その本を読んで受検してくれた。→監修者プロフィールの記載やマイ書斎を公開して、同じ研究をする人々等と学問や趣味の交流を深めている。→最近では、他大学からも引き合いがある。

図書館員さんの読Q活用例

閲覧室で、図書館員が時間を決めて順番に、読Qの試験監督をするようにしました。→子どもも大人もそれを便利に思ってくさっているようで、図書館へ足を運ぶ人が増えた気がします。→図書館の本を読む人が増えて嬉しいです。

読書家ではないけど読書推進をしたい人の読Q活用例

本を読むのは苦手だけど、読書はとても良いことだから、せめてみんなの読書を応援したいな→読Qに本を登録する？→読Qの本の登録って、沢山数えたりするから時間がかかるのね。→挿絵が入っている児童書などは特に、数えるのが難しいのね→でもこれをやれば、読Q本ページに私の名前が載る！→本を読むのはすぐ挫折するから、せめて本の登録をして、読Q本ページに載ろうかな。→あら、試験監督も、本を読まなくてもできる読書推進活動なのね！→近所のモールに屋根のある広場があるから、あそこでやろうかな。→ポケモンGOみたいに集まって、読Qの検定ができれば面白いわー。

書店やブックカフェの店長さんの読Q活用例

ぼくが読Qの試験監督をやるのを知って、お客さんが来てくれるようになった。→お客さんのスマホに、パスワード入力と顔認証するだけだから、簡単だ。→ぼくは厳しいから、受検中にお客さん同士がしゃべると、合格させないのだ。→きちっとルールを守るところが、かえって信用を生んだみたいだ。→常連さんと同じ本を読んで、一緒に読Qの検定クイズを作るのも楽しい。

日本語を勉強したい外国の方の読Q活用例

本を読むのが語学習得にいいとはわかっているけど、どんな本を選べばいいのかな→まだ簡単な日本語しか読めないから、子供向けの本を読んだけど、内容が幼稚でつまらなかった。→読Q本ページを見て、おすすめ本です、と言っている人の数が多い、小学校高学年以上向けの本を読んだら、そんなに難しくなくて、内容も面白い！→受検すると、本の内容を自分がちゃんと理解しているのかわかって助かるし、なにより、読んだ本についてテストされるのって、答えられる自信があるから嬉しい。

子育てサークルの読Q活用例

そろそろ子どもに1人で本を読んでもらいたいわ。→良さそうな児童書をみんなで読んでみて、読Q本にしましょうよ。→子どもが1人で読めるようになったら受検させられる本を増やしましょう。→みんなで本の登録からクイズ作りまでやると、読Q本に認定されるのも早いわね！